

# 2026年度 しずくいしの

# 予算



町の2026年度予算が議会3月定例会で審査・可決されました。町民や企業の皆さんに納めていただく税金は、主に一般会計の事業に使われているため、ここでは一般会計を中心に予算の状況についてご紹介します。☎総合政策課 ☎601-5419

## 一般会計は

110億4500万円

2026年度の一般会計予算は、110億4500万円となり、前年度の当初予算と比較して2億3500万円（2.2%）の増額となりました。

## 町の全会計の総計は

184億2647万円

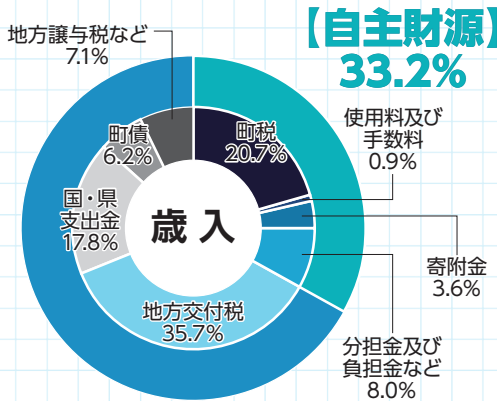
国民健康保険など6つの特別会計（P9参照）の計は、47億5018万円、企業会計の水道事業は11億1412万円、下水道事業は14億7423万円、簡易水道事業は4294万円で、町の全会計の総計は、184億2647万円となりました。

## 一般会計予算の概要

歳入は、町民の皆さんに納めていただく町税などの自主財源が全体の33.2%を占め、国からの地方交付税や国・県支出金などを合わせた自主財源以外が残りの66.8%を占めています。

## 一般会計予算

### 歳入

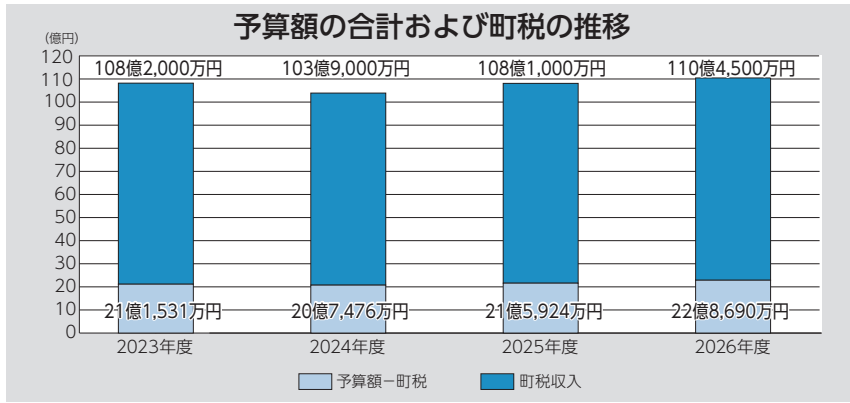


### 【自主財源以外】 66.8%

町税	使用料及び手数料
町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税からなる税金	町の活動や事務の中でサービスを受けた特定の人が納入するもの

区分	2025年度	2026年度	増減額
町税	21億5,924万円	22億8,690万円	1億2,766万円
町民税	6億8,246万円	7億6,065万円	7,819万円
固定資産税	12億1,997万円	12億7,382万円	5,385万円
軽自動車税	7,284万円	7,046万円	△238万円
たばこ税	1億2,508万円	1億2,306万円	△202万円
入湯税	5,889万円	5,891万円	2万円
使用料及び手数料	1億443万円	9,901万円	△542万円
寄附金	4億200万円	4億200万円	—
分担金及び負担金など	9億9,404万円	8億8,496万円	△1億908万円
自主財源計	36億5,971万円	36億7,287万円	1,316万円
地方交付税	39億3,026万円	39億4,026万円	1,000万円
国・県支出金	17億6,916万円	19億6,505万円	1億9,589万円
町債	7億1,050万円	6億8,630万円	△2,420万円
地方譲与税など	7億4,037万円	7億8,052万円	4,015万円
自主財源以外計	71億5,029万円	73億7,213万円	2億2,184万円
歳入合計	108億1,000万円	110億4,500万円	2億3,500万円

寄附金	分担金及び負担金など	地方交付税	国・県支出金	町債	地方譲与税・交付金
当該地方公共団体以外の者から受ける金銭の無償譲渡。ふるさと納税など。	特定の事業に充てるため賦課徴収するもの（財産収入、繰入金、諸収入などを含む）	国が所得税、法人税など国税の一定割合を町の財源を保障・調整するため交付するもの	国・県が町に対してある一定の基準により交付するもの	道路・建物などを整備するための町の借金	国税として徴収する収入から地方公共団体に譲与するものや交付金



主な歳出割合としては民生費23・6%、総務費17・4%、土木費11・8%となっていて、昨年度と同じく、福祉や保育に必要な民生費の割合が最も高くなっています。歳出における増減要因の大きなものは、橋梁補修工事が3億9050万円、公開型地



## 2026年度予算編成のポイント

- 人口減少や少子高齢化などの直面する課題や、脱炭素化・DX化\*に対応
- 第三次平石町総合計画で掲げる将来像の実現の総仕上げに向けて、必要な施策や重点事業を着実に推進

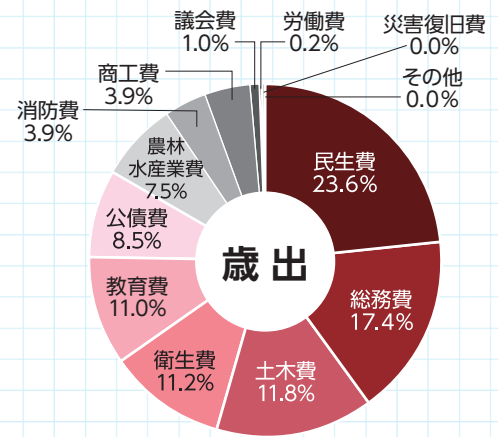
\*デジタルトランスフォーメーション (Digital Transformation) の略。行政手続きのデジタル化や行政内部のデータ連携などを通じて、住民の利便性向上と業務効率化を図るもの。

理情報システム構築業務委託7461万円、防犯街灯LED化業務委託7150万円などが挙げられます。今後とも限られた予算の中で、将来の財政負担を見据えながら、施策・事業の推進と、健全で持続可能な財政運営の両立に取り組んでいきます。

## 一般会計予算

区分	2025年度	2026年度	増減額
民生費	25億4,520万円	26億377万円	5,857万円
総務費	17億9,970万円	19億2,125万円	1億2,155万円
土木費	10億6,542万円	13億306万円	2億3,764万円
衛生費	11億6,723万円	12億4,954万円	7,231万円
教育費	15億8,069万円	12億1,777万円	△3億6,292万円
公債費	8億9,075万円	9億3,613万円	4,538万円
農林水産業費	7億7,068万円	8億3,042万円	5,974万円
消防費	4億3,018万円	4億3,391万円	373万円
商工費	4億3,208万円	4億2,807万円	△401万円
議会費	1億524万円	1億977万円	453万円
労働費	1,782万円	1,630万円	△152万円
災害復旧費	1万円	1万円	—
その他	500万円	500万円	—
<b>歳出合計</b>	<b>108億1,000万円</b>	<b>110億4,500万円</b>	<b>2億3,500万円</b>

## 歳出



民生費	総務費	土木費
福祉や保育などに必要な経費	庁舎管理、戸籍管理、税金徴収などの経費	道路、河川、公園などを整備する経費

衛生費	教育費	公債費	農林水産業費	消防費	商工費	議会費	労働費	災害復旧費
ごみ処理、環境保全、健康づくりなどの経費	学校教育、生涯学習、文化・スポーツ振興などの経費	町債(借金)を返済する経費	農林業の振興や用水路整備などの経費	消防、災害対策などの経費	企業支援、企業誘致、観光振興などの経費	町議会の運営に関する経費	雇用対策、勤労者支援などの経費	道路や施設の災害復旧をするための経費

※端数処理の関係上、合計と内訳の合計が一致しない場合があります。

## 1. 教育

## 学びを通して生きがいを感じるまち

事業名	予算額
教育相談事業（教育相談員配置など）	1,122万円
スクールバス運行事業（スクールバス運行委託など）	9,112万円
学力向上指導事業（虹色コンパスふるさと学習支援委託など）	1,652万円
小中学校給食事業（給食費全額公費負担）	5,929万円
総合運動公園等管理運営事業（町営体育館等管理運営など）	1億1,211万円
鶯宿温泉スポーツエリア推進事業（拠点施設管理運営など）	2,161万円



## 2. 保健・医療・福祉

## いきいきとともに幸せを感じるまち

事業名	予算額
地域保健福祉推進事業（社会福祉協議会運営費補助金など）	3,759万円
保育所入所措置事業・幼児教育保育無償化運営事業（3歳未満児の保育料無償化）	2,194万円
子ども子育て支援事業（出産・子育て応援給付金や出産祝金、入学祝金、在宅子育て応援給付金の給付など）	1,817万円
医療費助成事業（18歳までの医療費無償化など）	6,316万円
予防接種事業（インフルエンザや帯状疱疹予防接種助成など）	4,617万円
母子保健事業（妊婦・乳児一般健康診査など）	1,400万円



## 3. 産業

## 産業を通じて豊さを実感し笑顔で稼ぐまち

事業名	予算額
地域営農推進事業（未来へつなぐ農業応援事業費補助金など）	2,191万円
肉用牛振興対策事業（肉用牛振興対策事業費補助金の交付など）	1,263万円
土地改良総合整備事業（農業農村整備事業調査費負担など）	2,967万円
民有林整備促進事業（民有林整備促進事業費補助金の交付など）	1,936万円
商工政策推進事業（工場等設置奨励金など）	5,938万円
観光交流推進事業（観光誘客実践活動推進交付金、団体旅行等支援業務委託など）	6,505万円
観光誘客促進事業（栗石・冬フェスタ開催委託など）	2,391万円



## 4. 環境

豊かで誇れる自然を守り育て子どもたちにつないでいくまち

事業名	予算額
地球温暖化対策事業（再生可能エネルギー推進体制構築等業務委託など）	179万円
廃棄物処理事業（ごみ収集業務委託、滝沢・雫石環境組合運営など）	4億4,564万円
ごみ減量化・リサイクル推進事業（資源物集団回収奨励金など）	345万円
し尿処理事業（盛岡地区衛生処理組合運営など）	8,662万円



## 5. 安全安心

みんながつながって安全に住めるまち

事業名	予算額
地域公共交通活性化事業（あねっこバス運営業務委託など）	5,018万円
防犯交通安全施設整備事業（防犯街灯LED化業務委託など）	8,245万円
橋梁維持管理事業（橋梁補修工事など）	4億7,308万円
住宅政策推進事業（特定空家解体除却工事、若者向け住宅取得支援奨励など）	1,709万円
常備消防事業（盛岡地区広域消防組合運営）	2億9,396万円
消防団運営事業（町消防団運営など）	3,891万円

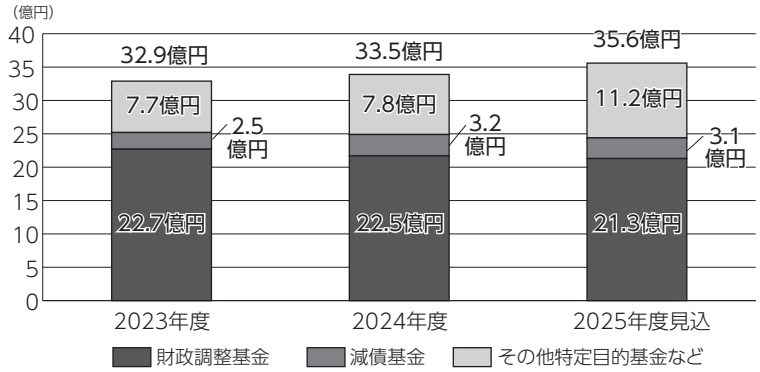


みんながつくる  
未来につなぐ  
ふるさとしずくいのし

# 基金や町債の推移

## 各特別会計・企業会計状況

基金(町の貯金)の年度末残高の推移



○**財政調整基金**

財源不足時の補填や年度間の財源調整、災害など緊急時に備えるための基金

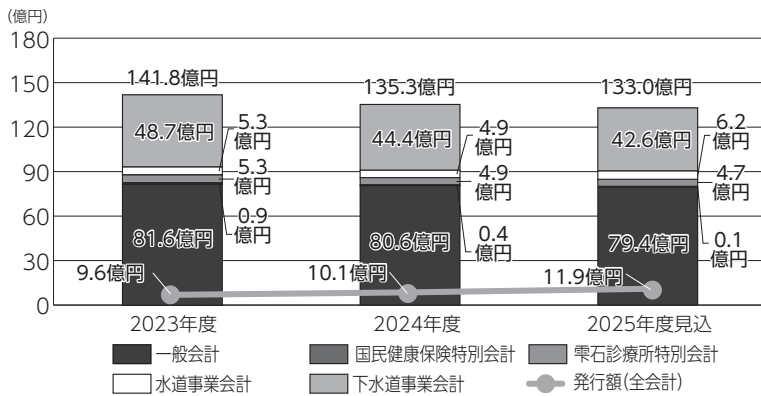
○**減債基金**

町債の償還のために設けられている基金

○**其他特定目的基金**

公共施設の整備や町営住宅の建て替え、貸付事業など特定の目的のために積み立てる基金

町債(町の借金)の年度末残高と発行額の推移



●各会計別の町債発行要因

○**一般会計**

公共事業、公共施設の整備、災害復旧事業、臨時財政対策債など

○**国民健康保険特別会計**

財政安定化基金貸付金

○**零石診療所特別会計**

零石診療所の整備など

○**水道事業・下水道事業**

水道供給施設や下水道施設の整備、災害復旧など

町の基金は  
約35億6千万円

町の「貯金」である基金。2025年度末の基金総額は、約35億6千万円になる見込みです。内訳として、財政調整基金が約21億3千万円、減債基金が約3億1千万円、其他特定目的基金などが約11億2千万円です。

主な増減の要因として、財政需要の増加に伴う財源調整に、財政調整基金を取り崩した一方、将来的な公共施設の整備などへの対応や、今後の町債の返済に対応するため、基金の積み立てを行いました。これからも、基金の適切な運用をしながら残高の確保や健全な財政運営に努めていきます。

バランスを考えた  
町債の運用

町の「借金」である町債。道路整備や上下水道施設整備をはじめとした公共事業のほか、学校施設、消防施設などの公共施設整備のための財源として発行するもので、将

来にわたり返済していく町の借入金です。主に、財政融資資金といった国からの借入のほか、銀行などの金融機関などから借入を行っています。借入する際は、施設の耐用年数を基準として10年や20年といった借入期間を設定し、現在は固定金利による半年賦元利均等返済方式を中心として行っています。

2025年度末の残高は、町債全体、一般会計ともに減少する見込みです。公共施設老朽化に対応するための新たな町債を発行する一方で、地方交付税の財源不足を一時的に町が補う「臨時財政対策債」の2025年度発行がなかったことが主な要因です。

今後も借入額と返済額のバランスを十分に考慮し、町債残高の縮減に努めます。



各特別会計・企業会計の状況

会計名		2025年度	2026年度	増減額	2026年度予算のうち 一般会計からの繰出金
特 別 会 計		46億506万円	47億5,018万円	1億4,512万円	7億4,141万円
内 訳	国 民 健 康 保 険	18億400万円	17億6,631万円	△3,769万円	1億4,366万円
	御 明 神 財 産 区	514万円	1,637万円	1,123万円	—
	介 護 保 険 事 業 勘 定	20億7,057万円	21億3,168万円	6,111万円	3億2,011万円
	介護保険介護サービス事業勘定	1,189万円	1,221万円	32万円	221万円
	霰 石 診 療 所	4億7,146万円	5億3,988万円	6,842万円	1億9,658万円
	後 期 高 齢 者 医 療	2億4,200万円	2億8,374万円	4,174万円	7,885万円
企 業 会 計		22億2,791万円	26億3,128万円	4億0,337万円	—
内 訳	水 道 事 業	8億3,372万円	11億1,412万円	2億8,040万円	—
	下 水 道 事 業	13億4,777万円	14億7,423万円	1億2,647万円	—
	簡 易 水 道 事 業	4,643万円	4,294万円	△349万円	—

※端数処理の関係上、合計と内訳の合計が一致しない場合があります。

各特別会計への繰出金

一般会計から各特別会計への繰出金は7億4141万円で、これは、特別会計予算額全体の合計約47億5018万円の約15・6%に相当し、前年度と比較して2889万円増額しました。

国民健康保険の医療費や介護保険などの社会保障費に対する負担のほか、霰石診療所の経営に対する負担のための繰出金が一般会計の中で大きな比率を占めています。今後一般会計への負担を少しでも減らせるよう、各会計の経営見直しに努めていきます。

企業会計への出資金

企業会計である水道事業会計へは出資金として1234万円、負担金として733万円、下水道事業会計へは出資金として4124万円、負担金及び補助金として2億104万円、簡易水道事業会計へは補助金として1841万円が支出されています。

住んでよし。育ててよし。子育てするならしくいし。

霰石町は子育て世代を応援しています

2026年度予算のうち、子育て関連事業をピックアップしてご紹介します！

事業名		予算額
学校生活補助	給食費の全額公費負担、放課後児童クラブ運営業務委託料など	9,779万円
子どもの健康づくり	各種医療費助成	5,589万円
	各種乳幼児健診実施費用	395万円
子育て応援	一時預かり事業費補助金、在宅子育て応援給付金など	2,711万円
出産祝いなど	出産祝金、入学祝金、出産・子育て応援給付金など	1,747万円
妊産婦ケア	妊婦一般健康診査委託料、ハイリスク妊産婦アクセス支援助成費など	880万円
幼児教育無償化	3歳未満児保育料無償化対応費用、子育て応援副食費給付費など	1,252万円

Pick up

小中学校給食費全額公費負担

町は、2026年度から今までの小中学校給食費半額補助ではなく、小中学校給食費全額公費負担とします。

●これまでの給食費補助との比較  
2025年度▶給食費の半分を町が負担

2026年度▶給食費を全額公費負担へ  
予算額▶5,929万円（うち県支出金▶3,398万円）

